

右代啓祐選手後援会会報

江別市出身
陸上10種競技

速報版

平成26年10月3日発行
第1号

右代啓祐選手後援会 〒069-0813 江別市野幌町9番地 江別市民体育館 内
TEL 011-384-5001 FAX 011-385-7192

アジア大会で金メダル！！

韓国仁川でのアジア大会で右代啓祐選手が金メダルを獲得しました

この号の主な内容

- 1 アジア大会で金メダル
- 2 アジア大会記録
- 3 お知らせ
- 4 会員募集



写真上：右は中村選手

9月19日から韓国の仁川で開催されています第17回アジア競技大会は、9月30日、10月1日に陸上10種競技が行われ、右代啓祐選手(スズキ浜松アスリートクラブ)が参加選手中ただ一人8000点を超える8088点の得点で、金メダルを獲得しました。

1日目の最初の競技100mでは、自己ベストを0.04秒上回る11.10秒の好タイムで好調なスタートをきり、次の走り幅跳びでは、7.08mで833点をマークしました。3種目目の砲丸投げでは14.80mで777点の得点でしたが、続く走り高跳びで2.02mで822点、400mは50.25秒の803点でこの日は5種目を終えて4073点で第3位につけました。

2日目の競技では110mハードルで830点、円盤投げで849点と順調に800点台を記録しましたが、この日3種目目の棒高跳びでウズベキスタンのアンドレーエフ選手が5.00mを跳び910点の高得点をマーク、4.70mで819点の右代選手をトータルポイントで153点差と大きくリードしました。右代選手も次の得意種目のやり投げで68.09mの記録で860点を記録し懸命に追いかけてきました。この時点でトップとの差は32点で最終種目の1500mでの計算で約5秒差まで追い上げ、最後は約43秒差の大逆転での金メダルとなりました。アンドレーエフ選手は7879点で銀メダル、右代選手と同じスズキ浜松アスリートクラブに所属している中村明彦選手は7828点で銅メダルを獲得しました。

—今回のアジア大会の記録と右代選手のベスト記録—

種目	アジア大会		ベスト記録		備考
	記録	得点	記録	得点	
100m	11.10 秒	838	11.14 秒	830	更新
走り幅跳び	7.08m	833	7.45m	922	
砲丸投げ	14.80m	777	15.35m	811	
走り高跳び	2.02m	822	2.06m	859	
400m	50.25 秒	803	49.66 秒	830	
110mハードル	15.16 秒	830	14.90 秒	862	
円盤投げ	48.98m	849	50.17m	874	
棒高跳び	4.70m	819	4.90m	880	
やり投げ	68.09m	860	73.82m	948	
1500m	283.76 秒	657	266.68 秒	767	
合計		8088		8583	

—お知らせ—

- ★後援会では11月に右代啓祐選手をお招きして、アジア大会の優勝祝賀会、報告会を開催する予定です。
- ★市内小中学校に子どもたちの激励作文を募集しています。9月末現在で2校168名の皆さんから届いています。
- ★9月末現在での会員数は団体法人会員が78団体、個人会員は162名となっております。

後援会の会員を募集しています

知人、友人の中で右代啓祐選手を応援したいという方がいましたら、是非お誘いください。
 年会費は法人団体が10,000円、個人が3,000円です。
 詳しくは後援会事務局にお問い合わせください。